

平成31年度青果物輸出促進緊急対策事業

セントライ青果株式会社

平成31年度青果物輸出促進緊急対策事業

香港 日程表 2019/7/11 ⇒ 2019/7/13

日付	移動手段	日程	宿泊先
7月11日（木）	CX533 MTR MTR MTR	中部国際空港 9:30 ✈ 香港空港 13:30 香港空港 ⇒ 九龍 尖沙咀 ⇒ 太古 天后 ⇒ 尖沙咀 香港視察店舗 アピタ太古・イオン・SOGO他	香港泊 HOTEL HART
7月12日（金）		香港視察店舗 ドンドン・ドンキ尖沙咀開店	香港泊 HOTEL HART
7月13日（土）	MTR CX532	香港視察店舗 ドンドン・ドンキ尖沙咀他 九龍 ⇒ 香港空港 香港空港 16:15 ✈ 中部国際空港 21:15	

香港販促実施店舗

1. アピタ太古
2. ドンドン・ドンキ尖沙咀

■ 概 要

販売促進期間	2019年7月12日～2019年10月31日
販促実施店舗 (香港)	1. アピタ太古
	2. ドンドン・ドンキ尖沙咀
販売品目	もも・ぶどう
金 額	もも 23,179,128円 ぶどう 15,363,400円
活動内容・状況	今回は日本系の量販店であるアピタ、ドンドン・ドンキにて桃・ぶどうをメインとした販売促進活動を実施した。 元々香港における日本の桃・ぶどうの貿易輸出額全体に占めるシェアは桃が約8割、ぶどうが約5割を占めており、すでに現地では受け入れられる基盤はできている状況である。 販売を実施してみると、やはり桃・ぶどうを中心によく売れていた。特に桃は人気があり、箱で複数購入していく客も多数見受けられた。 アピタ店舗では、中秋節用にギフト商品も現地加工して販売を行ったが、桃・ぶどうが入っていることが商品の価値を高めているように感じた。 「日本の果物はおいしい」という概念をより広く周知させるため、この桃・ぶどうの人気をさらに押し上げつつ、他の果物にも波及させていけるような販売戦略を今後進めていきたい。

1. アピタ太古



- * 売り場を7月～10月まで大々的・長期的に展開し、拡販を行った。
- * 陳列は整然としておりきれい。中秋節用に桃・ぶどうの入ったギフト商品売り場も展開された。
- * 客層は中間層～富裕層である印象。

2. ドンドン・ドンキ尖沙咀



- * 香港での第一号店（視察期間中の7/12開店）。香港九龍サイドの中心地「尖沙咀」エリアに位置する。
- * 複数の入数、価格帯の桃を販売。メインは5玉から8玉入り箱で、売り場中央に山積み売り。
- * ぶどうやその他果物の陳列は平積みだが、売り場がカラフルで賑やかになるように工夫されている。